

火力発電所におけるクラゲの大量発生への対策強化について

昨年、最大で120万kWの出力抑制につながったクラゲの大量発生への対策を、今夏は以下のとおり強化しました。

その結果、クラゲによる発電停止の件数は、昨年の8件から今年は0件に、出力抑制は55件から18件に、それぞれ大幅に減少しており、対策が一定の効果を上げたものと考えております。

<今夏に実施したクラゲ対策の強化について>

- (1) クラゲ防止網の強化
- (2) クラゲ防止網を支えるアンカーブロックの大型化
- (3) 防止網周辺のクラゲを強制的に貯槽に搬送できる可搬式の専用ポンプを新たに設置

<火力発電所におけるクラゲによる供給力への影響>

